

熱海港湾エリア賑わい創出整備懇話会

第 2 回

議題：渚第 4 工区護岸形状について

令和 6 年 1 1 月 2 1 日

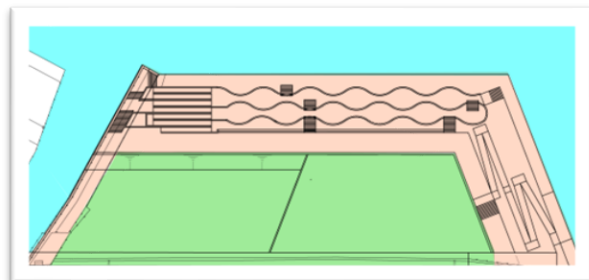
熱海市

第1回懇話会の主な意見

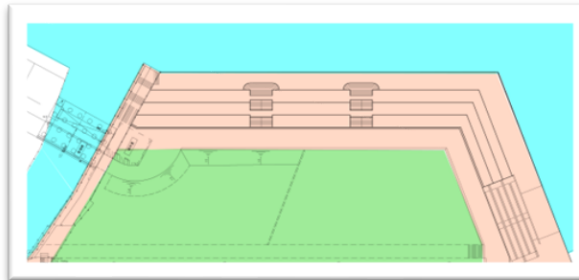
- 第1工区～第3工区と連続性・統一性に配慮した形状が良い。
- 海から見たデザインが重要、コストが課題にならないければ波型形状が望ましい。
- 花火での利用や平常時の利用を考えると直線形状にして広い空間を確保したほう良い。
- バリアフリーや避難などの観点が重要である。
- 津波対策の早期効果発現のため、早急の整備が必要。

【第1回懇話会資料】 評価

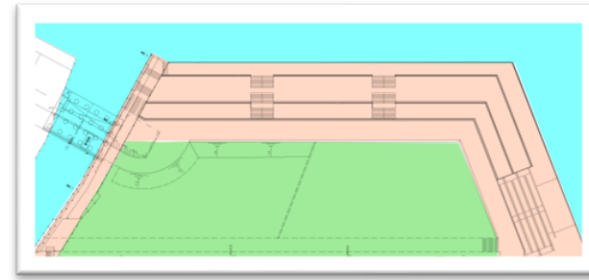
A案（波型4段）



B案（直線4段）



C案（直線3段）

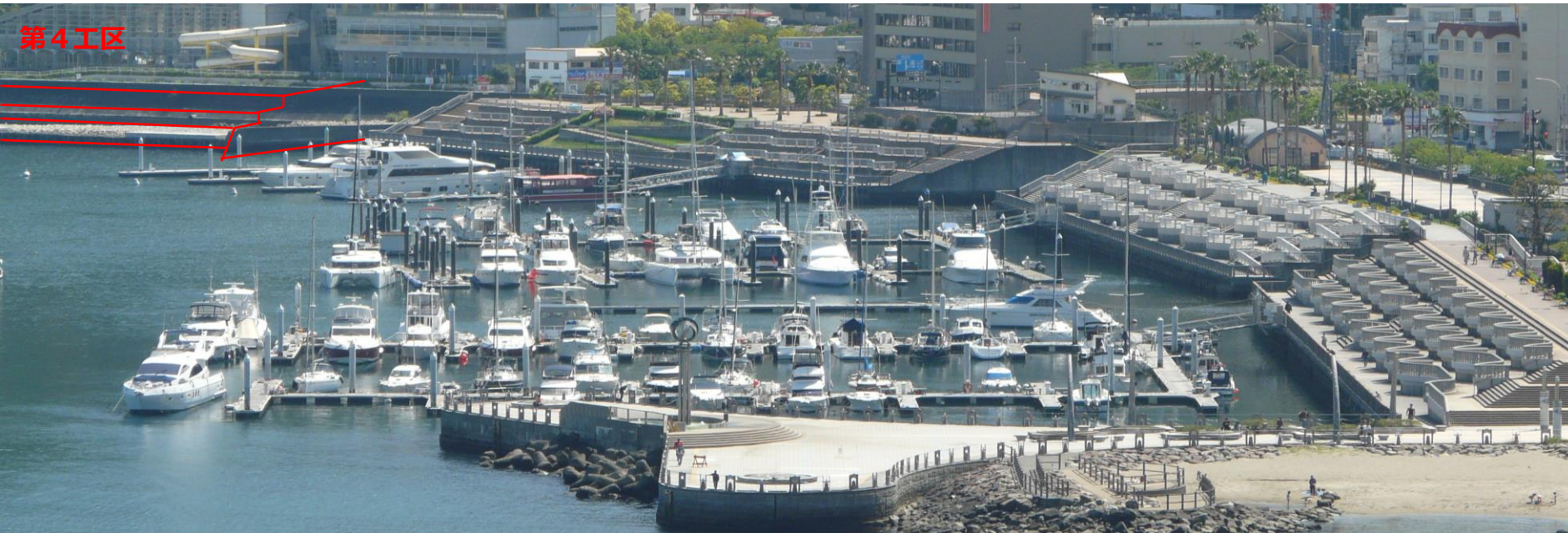


○：3案の中で優位性が高いことを示す

評価の視点	A案 波型4段	B案 直線4段	C案 直線3段
①景観性(沖側船上、海岸線散策等利用者視点):第1~3工区の護岸形状と統一性、連続性がある。コースタルリゾート計画の踏襲	○		
②テラス部の利用性:イベントスペースの確保		△	○
③緊急対応:避難時の円滑さ		△	○
④設計・施工経費		△	○
総 合 評 価		△	○

景観性（沖側船上、海岸線散策等利用者視点）

- 第1～3工区までA案（波型4段）の形状と同様のため、第4工区においても、同形状とすることで、第1～3工区の護岸形状と統一性、連続性が保たれる。



サンビーチから第1工区～第4工区を望む

第1工区



第2工区



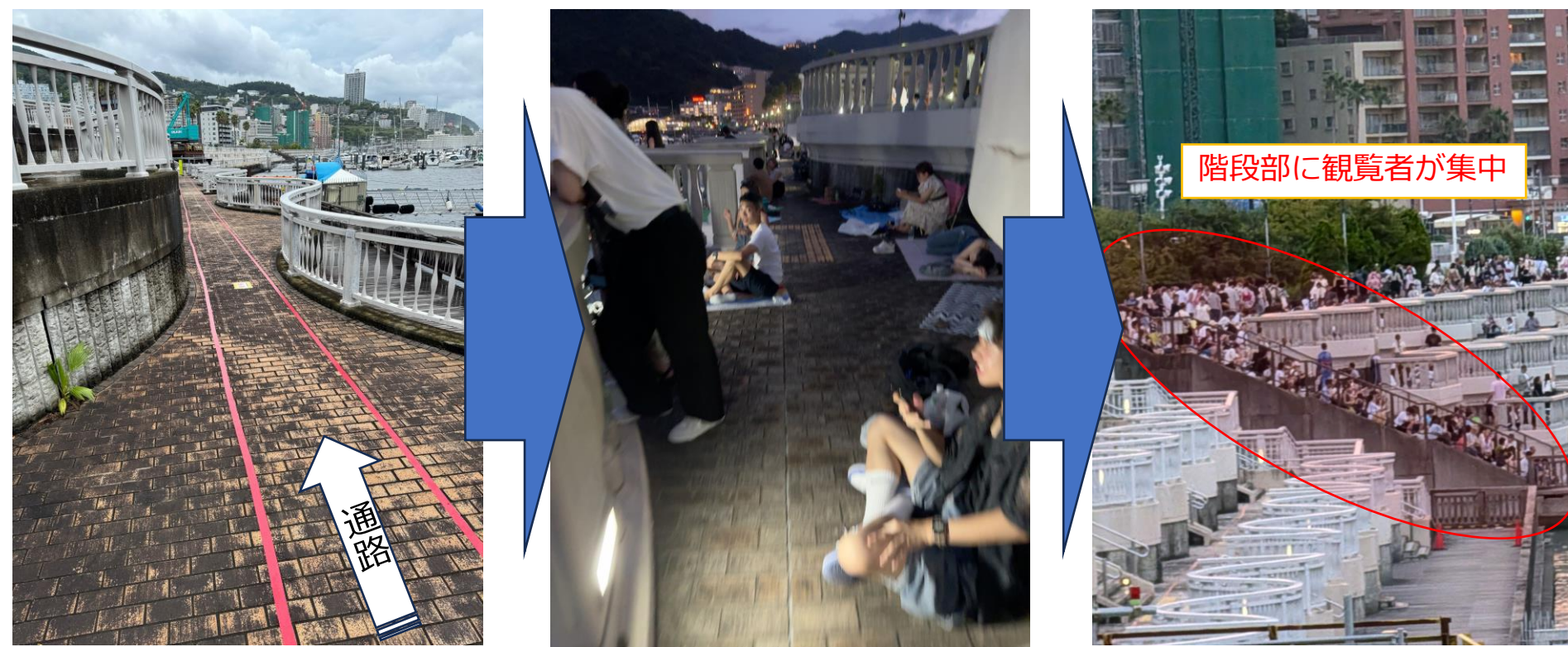
第3工区



テラス部の利用性（イベントスペースの確保等）

- 熱海の主要なイベントとなる花火大会（令和5年度：18回開催）時において、波型凸部の幅員が狭いことから、テラス部の閲覧スペースに制約があり、混雑時には階段部に観覧者が集中するなど、誘導通路の確保も困難な状況となっている。

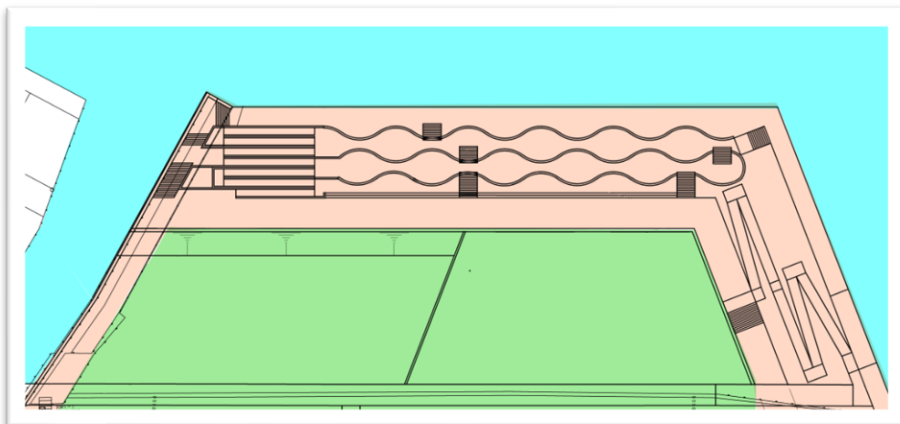
【花火大会開催時の状況】



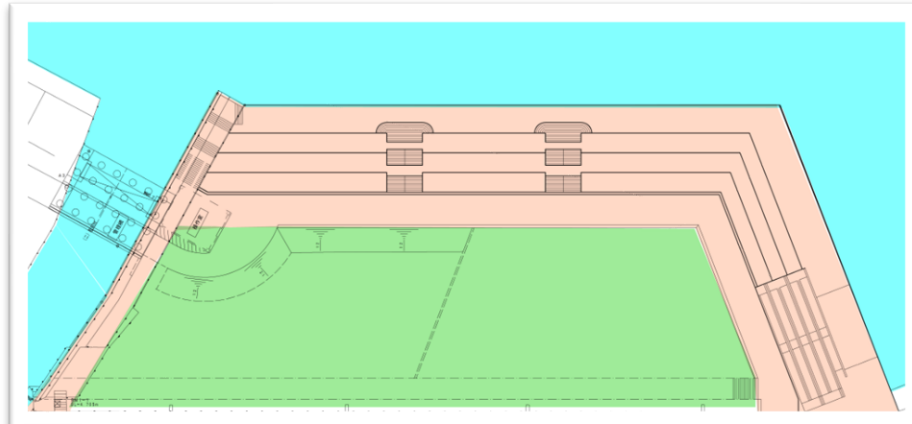
※第1回懇話会の意見を踏まえた提案

- 景観性と利用性を考慮し、現状の1工区～3工区を踏襲したA案（波型4段）と、利用性に優れるC案（直線3段）の折衷案として、波型3段を利用性に配慮し、曲線を緩めにした新しい案を提案

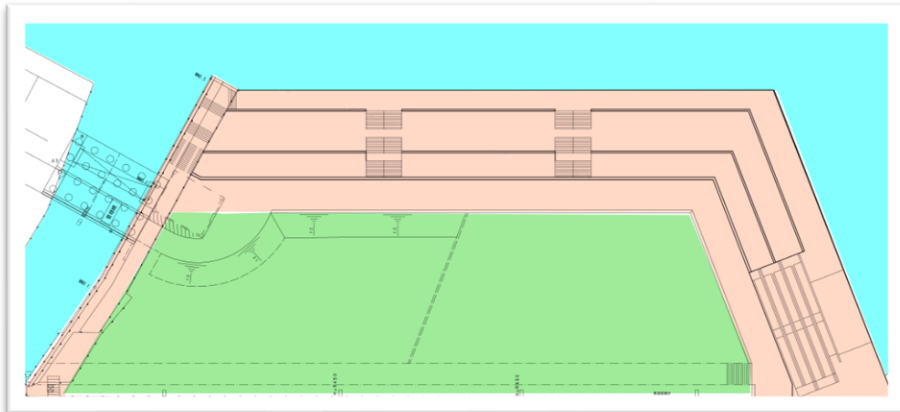
A案（波型4段）



B案（直線4段）

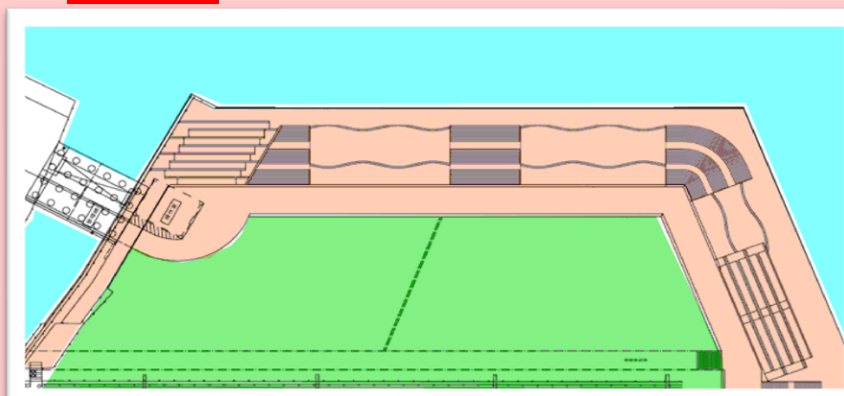


C案（直線3段）



新提案

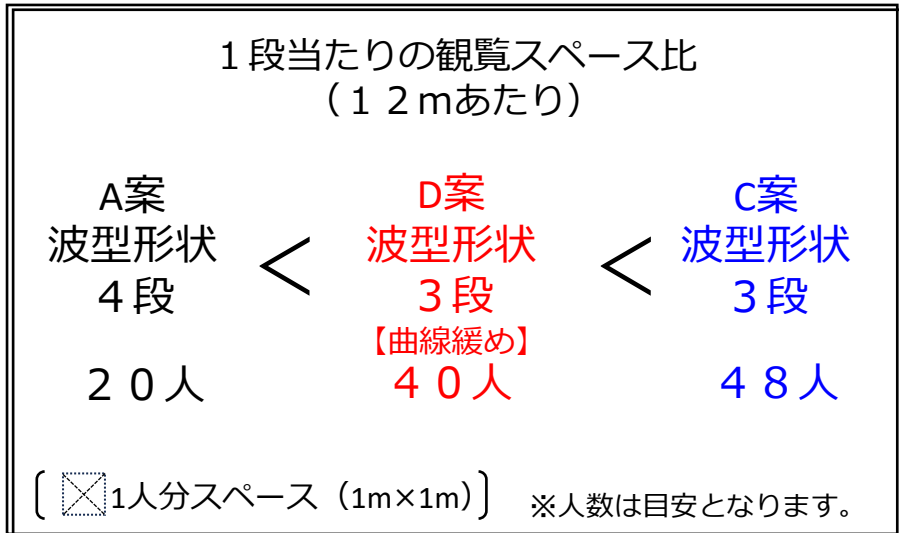
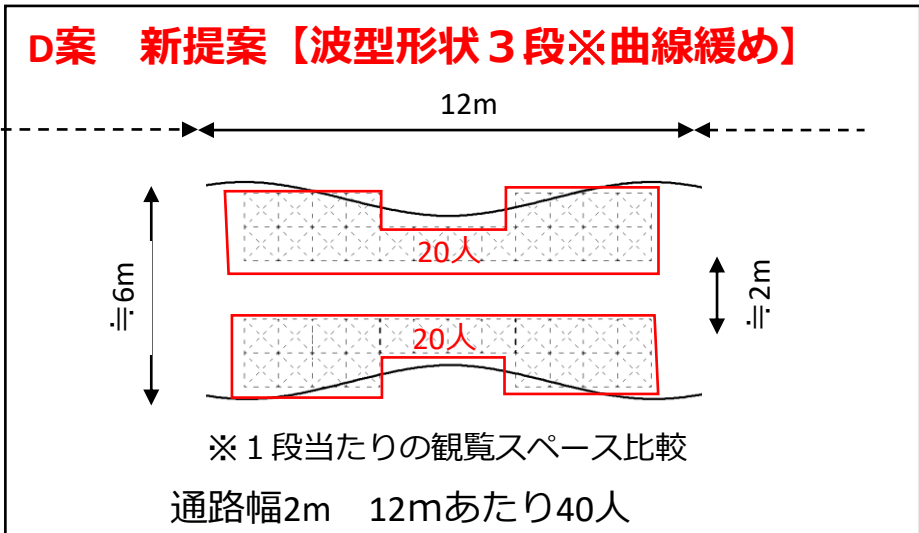
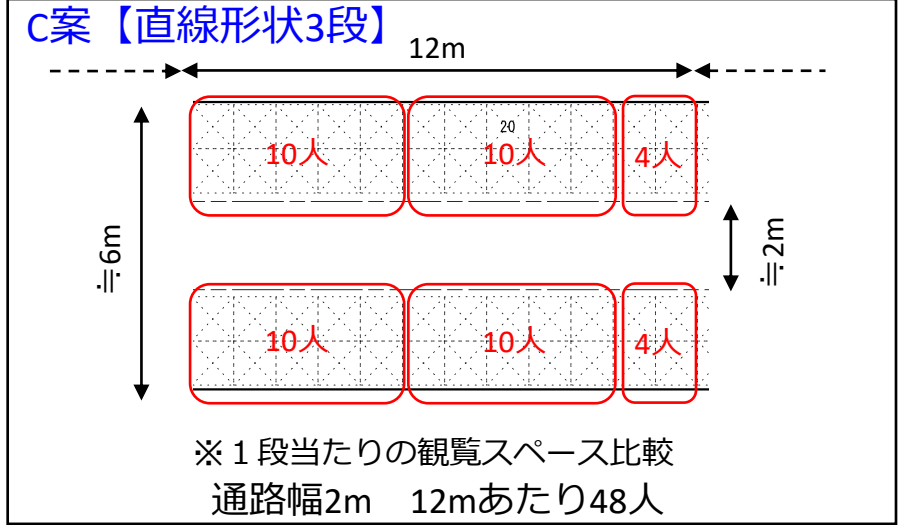
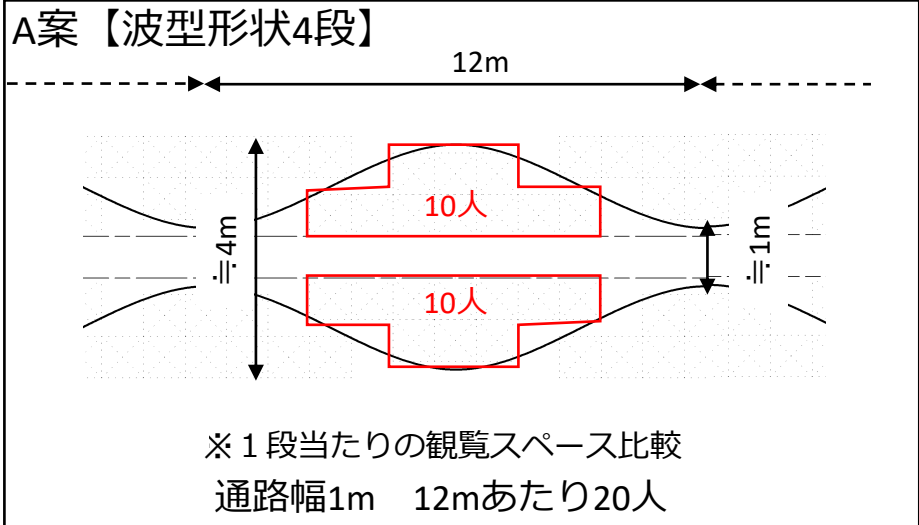
D案（波型3段）※曲線緩め



テラス部の利用性（イベントスペースの確保等）

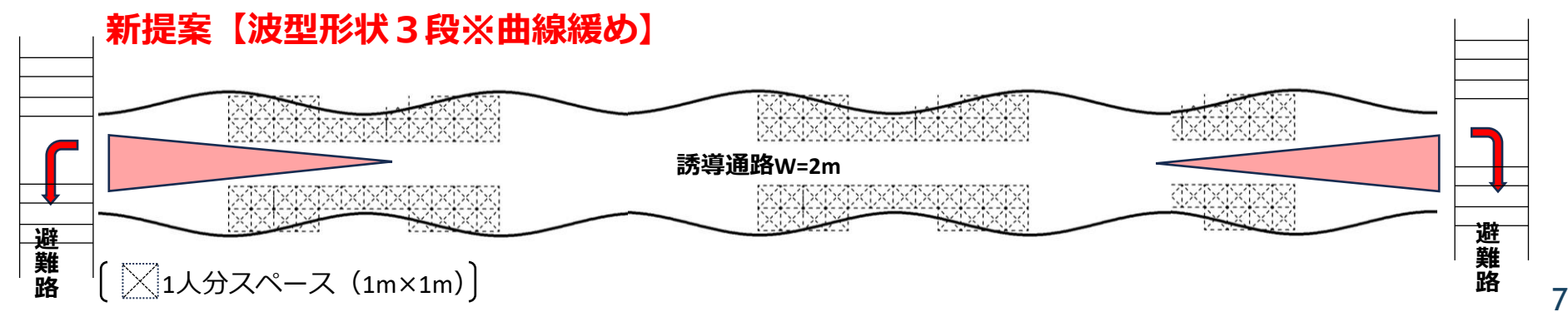
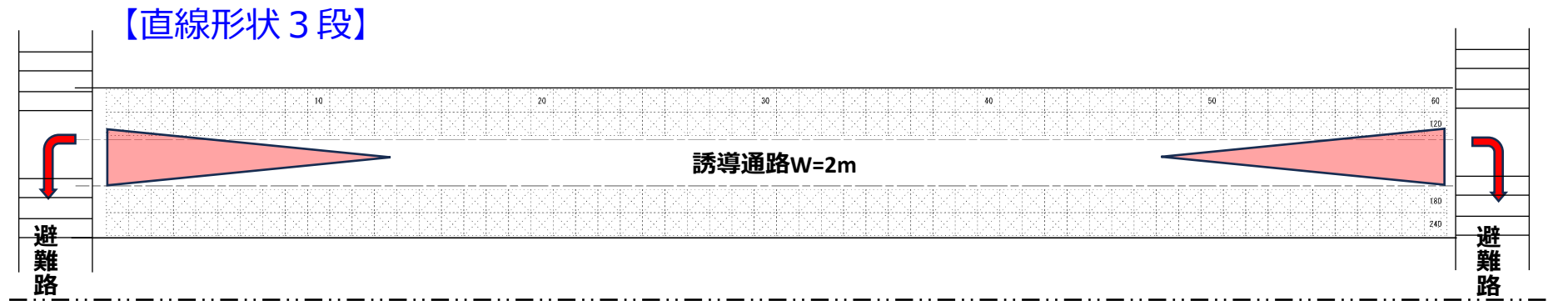
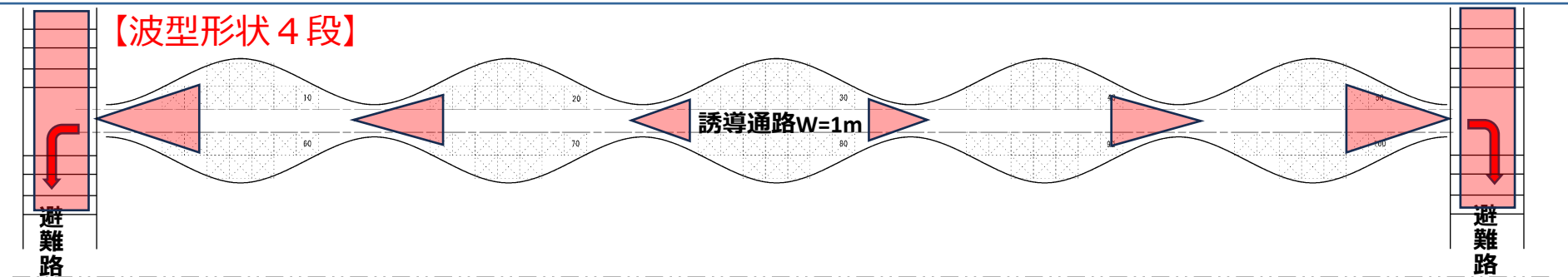
- 花火大会時の観覧スペースについて、「波型形状4段」、「直線形状3段」、「波型形状3段（曲線緩め）」を比較すると、「直線3段」や「波型3段【曲線緩め】」とすることで、安全な通路幅を確保しても大幅に観覧スペースを確保することが可能となる。

【花火大会時の観覧スペース比較】



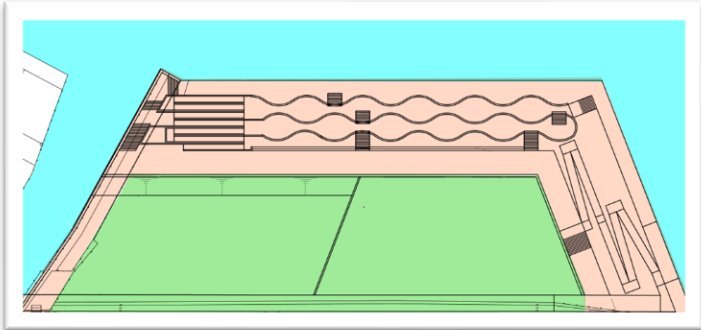
緊急対応（避難時の円滑さ）

- 波形状 4 段の場合、緊急避難時において凸部の幅員が狭くボトルネック状態となる。また、誘導通路確保に制約があり、最大でも 1 m 程度の幅となる。階段部においても観覧客が集中し緊急時の避難が困難となる。
- 直線形状 3 段や波形状 3 段（曲線緩め）の場合、全区間を通して十分な誘導通路幅を確保でき、花火大会時もテラス部に観覧スペースが確保されるため、階段を避難路スペースとして確保可能となる。

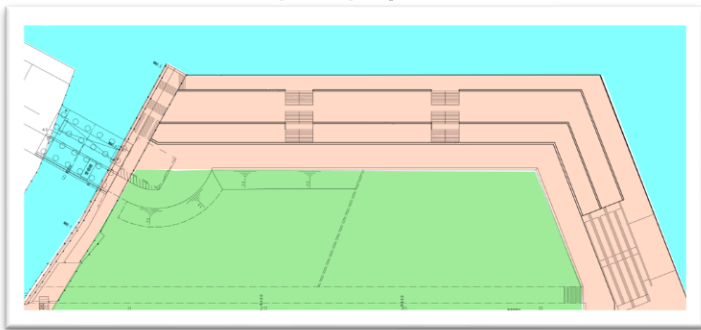


第1回懇話会の意見を踏まえた再評価

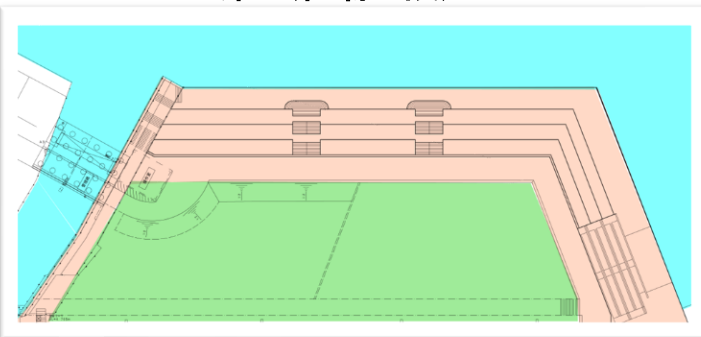
A案（波型4段）



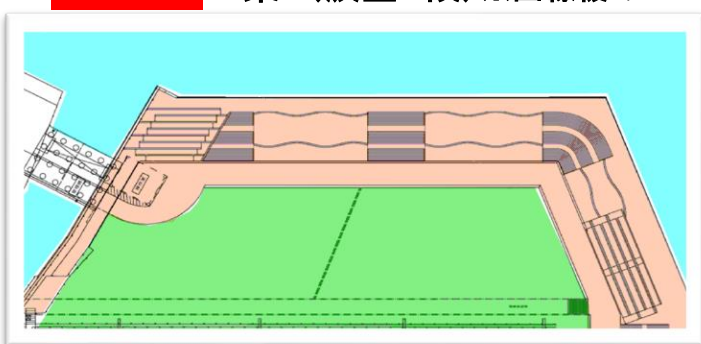
B案（直線4段）



C案（直線3段）



新提案 D案（波型3段）※曲線緩め



評価の視点	A 案 波型4段	B 案 直線4段	C 案 直線3段	D 案 波型3段 ※曲線緩め
① 景観性(沖側船上、海岸線散策等利用者視点) 第1～3工区の護岸形状と統一性、連続性	4 ◎	1 △	1 △	3 ○
② テラス部の利用性:イベントスペースの確保	1 △	3 ○	4 ◎	4 ◎
③ 緊急対応:避難時の円滑さ	1 △	3 ○	4 ◎	4 ◎
総合評価（優:4◎→3○→2▲→1△）	6 △	7 ▲	9 ○	11 ◎

階段・スロープについて

- スロープは両端2カ所とし、スロープ利用者が移動しやすい配置とした。
- 階段は左側スロープ横、テラス中央部、コーナー部に配置、各階段幅を広くすることで、ベンチ利用や避難誘導の円滑化を図る。

※各寸法はおおよその値であり
詳細設計において確定します。

